

2022年6月2日

各 位

株式会社 紀陽銀行

官民連携プラットフォーム  
「NOROS I スタートアップハブ」への参画について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、官民連携プラットフォーム「NOROS I スタートアップハブ」に参画いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

「NOROS I スタートアップハブ」は、スタートアップに関する活動を通じて人々が豊かな人生を選択できる社会を作ることとを目的として、株式会社アドリブワークス（代表取締役：山岡 健人）が発起人となり設立した官民連携プラットフォームです。

当行は、「NOROS I スタートアップハブ」を通じた起業支援により、関係人口の創出、地元エリアへの移住定住の促進をめざします。

紀陽銀行は、今後も自治体および関係機関と連携し、地域活性化および地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

記

【NOROS I スタートアップハブ 概要】

名 称	NOROS I スタートアップハブ
設 立	2022年6月1日
発 起 人	株式会社アドリブワークス（代表取締役：山岡 健人）
目 的	国内外の関連諸団体、関係省庁等と相互連携を図り、スタートアップに関する活動を通じて、人々が「豊かな人生」を選択できる社会を作る
参 画 数	24（地方公共団体：7、企業：16、大学：1）
U R L	<a href="https://norosi-startup.com/">https://norosi-startup.com/</a>

※当行と同時に和歌山市も参画しています。

【イメージ図】

＜起業予備軍が、事業アイデアの“狼煙”をあげ共感する仲間を募り、適した創業の地へと導く＞



以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

